HANBAT NATIONAL UNIVERSITY
SINCE 1927

ハンバット大学
Hanbat National University

●学部学生 9,500人　●大学院生 460人　●教員 1,200人

ホームページ　http://new.hanbat.ac.kr/html/en/

交流協定締結年月日：2008年11月14日　主管学部：工学部

▲ハンバット大学協定校訪問の様子

国際交流の特色

韓国の国立大学で、特に工学系に強みを持ち、当工学部と関係深い学科および研究内容がある。ソウルとプサンの中間の大田（Daejeon）に位置する。産学連携や企業との共同研究、化学分析認定などにも多くの実績がある。アメリカ、イギリス、中国、ベトナムなど29カ国100大学と国際交流協定を結んでいる。日本では、岩手大学をはじめとし7校と協定を締結している。アメリカ・ミシシッピ大学と、イギリス・Surrey大学の間にデュアル・ディグリー制度を設立している。

交流実績（平成２６年度～２８年度）

受入・派遣＼年度	H26	H27	H28
学生の受入	3	1	0
学生の派遣	2	0	2
研究者・職員の受入	13	0	0
研究者・職員の派遣	0	2	2

平成25年度　ハンバット大学との
合同研究会、企業訪問

平成26年度　ハンバット大学
事務職員研修

教員からの声

2008年以来、双方の研究と学生間の交流など密な連携を計っています。特に、ハンバット大学の閔丙贊教授とは研究分野が近く、毎年双方の学生が行き来して交流を進めています。研究についてはハンバット大学の閔教授とともに、人間支援工学関連の研究テーマについてお互いの最新研究成果の報告会を実施し、たとえば自動車運転者の特性理解や安全運転のための支援方策について共同研究を行っています。そして、2011年から1年間ハンバット大学のKang JinKyu 教授が客員教授として工学部に滞在されました。また、2012年にはハンバット大学からの研究生が工学部で学び、このような活発な交流は両大学の学生に良い意味での刺激を多く与えてくれています。

工学部教授　鈴木　桂輔

教員からの声

2009年から「大気圧低温プラズマを用いた成膜技術」に関する研究について共同研究を開始し、2010年度には香川大学の国際交流基金の共 同研究プロジェクトに認定され，国際共同研究を行いました。2011年度からは、主にハンバット大学の学部生を1年間に１名程度受入れています。2014年1月には、香川大学工学部において、2校の共同主催により、「第3回香川大学およびハンバット大学による材料関連合同研究会」（国際ワークショップ・特別講演3件・口頭発表2件・ポスター発表34件）を開催しました。ハンバット大学の教員4名、学生15名を含む約 60名の学生、教職員が参加し、研究に関する活発な議論がなされました。企業訪問も実施して、株式会社石垣（坂出市）と株式会社タダノ（さぬ き市）を訪問しました。今後も両校の国際的な交流がより盛んになることを期待しています。

工学部教授　須崎　嘉文